愛南町議会 受付 -8.11.24 4

令和 8 年 11 月 24 日
午前・午後 8 時 30 分 受領

議長	事務局長	係

令和８年１１月２４日

愛南町議会議長　吉田　茂生　殿

愛南町議会議員　山本美佐

一　般　質　問　通　告　書

次のとおり通告します。

質　問　の　要　旨【答弁を求める者】

１．　景観を活かした観光振興について【町長】

愛南町には、美しい海や山など、多くの自然景観があります。
特に宇和島方面から愛南町へ向かう国道 56 号沿いの景色は、多くの町民が誇りに思い、「ぜひ見てもらいたい」と感じている景観の一つです。

しかし現在は、海側の樹木が成長し、以前のように海が見えにくくなっている場所があります。町民からも眺望確保を望む声がありますが、国有林や個人所有地など関係者が異なり、伐採の許可や調整に時間を要することから、一か所対応している間に別の場所の木が伸びるなど、景観維持が自転車操業のような状況にあります。

また、国道 56 号沿いの柏休憩所には以前、海の景色を楽しめる展望施設がありましたが、現在は撤去され、今後の活用方針も見えていません。
もちろん、自然豊かな町である以上、すべての景観を維持管理し続けることは現実的ではないと考えています。

先日、E:N BASE での自治体と民間企業の交流イベントに登壇された中村町長は、町内周遊や宿泊を促す観光振興の方向性を示されました。
報道では「私たちが求めているのは一時的な賑わいではなく、地域に人が巡り、仕事と経済が生まれ続ける仕組みです」との発言も紹介されていました。

私も、一か所だけを訪れて帰っていただくのではなく、町内を巡り、愛南

町のさまざまな魅力に触れていただくことが、地域の活性化につながると考えます。紫電改展示館の建て替えも、町内を巡っていただく機会になると期待しています。
そこで、お伺いいたします。

（1） 愛南町の美しい自然景観のうち、町としてどのような景色を観光客に見てもらいたいと考え、今後どのように観光振興に活かしていくお考えでしょうか。